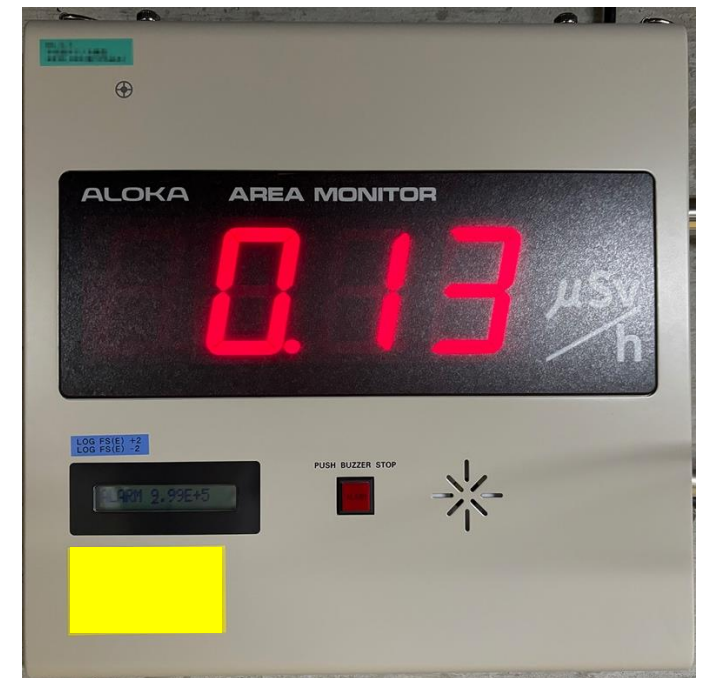


## インシデント事例：

### 管理区域内のエリアモニタの表示値が通常より上昇していた

- エリアモニタの表示と作業環境測定により、最近、管理区域内に線量率が高い場所があることを認識していた。
- ここはサイクロトロンの使用に伴って線量率が上昇する場所であることから、サイクロトロン起因のものであると考えていた。
- ところがサイクロトロンを停止させても線量率がBGレベルまでは下がらなかった。



- NaIとラギッドサーベイメータを用いてサーベイを行ったところサイクロトロンに近い場所の方が線量率が低かった
- 原因がサイクロトロンではないと判断し、周辺サーベイを続けたところ、置かれていた掃除機から強い放射線が測定された。



判明した原因：

誰かが掃除の際に強い放射化物を吸い込みそのまま掃除機を放置しておいたようである。

教訓(1)：

管理区域内で掃除機を使用したときは、使用後に線量率測定をすること！



対応：

- 掃除機（紙パックタイプ）から紙パックを取り出した。紙パックを密閉し、それを保管廃棄室に廃棄した。
- 掃除機内部の汚染検査を行った。汚染は見つからなかった。

なお、この掃除機は、放射化物の加工（壁のアンカー打ちなど）のために用意してあった掃除機であった。紙パックは、粉じん用で目が細かいものが使われていた。放射化物が紙パック内にとどまり、汚染が拡大しなかったのは想定通りであった。

教訓(2):

サイクロトロン使用に伴って線量が上がる箇所であっても、エリアモニタの値がビームのON/OFFに連動するか確認すること。